【題目】

USJの入場券の価格＋追１＋追２

【ソースコード】

#include <stdio.h>

void main()

{

int ne;

char an;

printf("年齢は？\n");

scanf("%d",&ne);

if((ne<=0)||(ne>=120))

{

printf("正しく年齢を入力してください");

}

else if(ne<=3)

{

printf("あなたのチケットの価格は0円です。\n");

}

else if((ne>=4)&&(ne<=11))

{

printf("あなたのチケットの価格は5400円です。\n");

}

else if(ne==12)

{

printf("小学生ですか？ y or n \n");

fflush(stdin);

scanf("%c",&an);

if (an=='y')

{

printf("あなたのチケットの価格は5400円です。");

}

else if(an=='n')

{

printf("あなたのチケットの価格は8400円です");

}

}

else if((ne>=13)&&(ne<=64))

{

printf("あなたのチケットの価格は8200円です。\n");

}

else if(ne>=65)

{

printf("あなたのチケット価格は7400円です。\n");

}

}

【実行結果】

U:\school>ifubunnnokadai2

年齢は？

0

正しく年齢を入力してください

U:\school>ifubunnnokadai2

年齢は？

120

正しく年齢を入力してください

U:\school>ifubunnnokadai2

年齢は？

1

あなたのチケットの価格は0円です。

U:\school>ifubunnnokadai2

年齢は？

3

あなたのチケットの価格は0円です。

U:\school>ifubunnnokadai2

年齢は？

4

あなたのチケットの価格は5400円です。

U:\school>ifubunnnokadai2

年齢は？

11

あなたのチケットの価格は5400円です。

U:\school>ifubunnnokadai2

年齢は？

13

あなたのチケットの価格は8200円です。

U:\school>ifubunnnokadai2

年齢は？

64

あなたのチケットの価格は8200円です。

U:\school>ifubunnnokadai2

年齢は？

65

あなたのチケット価格は7400円です。

U:\school>ifubunnnokadai2

年齢は？

119

あなたのチケット価格は7400円です。

U:\school>ifubunnnokadai2

年齢は？

12

小学生ですか？ y or n

y

あなたのチケットの価格は5400円です。

U:\school>ifubunnnokadai2

年齢は？

12

小学生ですか？ y or n

n

あなたのチケットの価格は8400円です

【感想】

今回はif文の使い方を少し間違えて覚えていたのを修正することができました。

elseの後にもifをつけるのを今回課題ではっきりわかったので次からはしっかり付け忘れないようにしたいです。

追２の課題では、scanfを２回目に使うときはfflushを使わなければいけないということを学ぶことができました。小学生かの判断をするときに使った、Charはあまりintほど使う機会がなかったので、今回使ってみて改めて活用していけたらいいなと思いました。